



こんにちは  
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

宇佐美 さやか

2016年 2月24日号  
日本共産党神奈川県事務所

横浜市神奈川区西神奈川3-2-17  
電話：491-6843、FAX：491-6892  
<http://www.usami-sayaka.jp//>

古谷やすひこ議員が現年度議案関連質問

## 国際平和への不断の努力を世界にアピールせよ

横浜市議会では16日、現年度議案に関する質問が行われ、古谷やすひこ議員が日本共産党を代表して質問しました。

### 国際事業展開の意義は『投資』か？

横浜市国際戦略は、本市の国際事業を戦略的に展開し横浜の成長につなげるために全庁的に共有すべき基本的な考え方を定めるものです。本戦略には、本戦略に統合される「都市間交流ビジョン」にある「世界の平和と発展に貢献する都市」などの平和に関する記述がなく、代わりに国際的な事業展開の意義を「持続的に成長していくための『投資』」だとしています。

古谷議員は、これでは今まで横浜が世界に向けて発信してきた平和のメッセージを打ち消すようなものと指摘。積極的に国際平和の構築に向けて不断の努力をしていくことを国内外にアピールすることが、海外進出企業の経済活動の障害をなくし、経済発展につながるとして、「平和都市宣言や非核都市宣言など目に見えるかたちでアピールして、世界に向けて発信していただきたい」と述べ、市長の決意を問いました。

林文子市長は、「世界とともに成長する横浜という理念を掲げ、さまざまな国際事業を通じて国際社会が平和と発展に向けて貢献していく」と答えましたが、それらの明文化や平和都市宣言については言及しませんでした。



質問する古谷やすひこ議員＝2月16日、横浜市本会議場

### 総額749億円の新市庁舎建設は見直しを

新市庁舎建設は総額749億円の巨大大業で、本議会に679億円の移転新築工事請負契約が出されています。

日本共産党は、新市庁舎建設の時期と金額が問題であり、建て替えが必要な場合は将来世代に過度な負担にならない額に抑えるべきだと主張してきました。古谷議員は、「予算が厳しいといわれている中で、異常な高額な事業費の支出は考えられない」として、計画を再検討するよう求めました。

林市長は、関内関外地区の活性化と現市庁舎が抱える喫緊の課題の早期解決に向けてしっかりと取り組むと述べ、見直す考えがないことを表明しました。

## 予算特別委員会を傍聴しましょう



新年度予算を審議する予算特別委員会が始まります。2月29日(月)から3月11日(金)までは、第一、第二委員会に分かれて局別審査、3月23日(水)には2つの委員会が合同で総合審査が行われます。局別審査は直接傍聴ができます。局別審査・総合審査ともにインターネット中継がご覧になれます。みなさんご自身の目で耳で、みなさんの選んだ議員がどのように審議するのか、ご注目ください。